



## 全国学力・学習状況調査の結果から

小学6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果が、9月29日に全国一斉に公表されました。この調査は、教科の国語と算数、生活習慣や学習環境等の質問紙調査があります。そして、教科については、「知識」に関するA問題と「活用」に関するB問題に分かれます。以下に、全国と群馬県の平均正答率と比較した、本校の特徴的な傾向をお知らせします。

国語Aは、全国・県の平均正答率を下回りました。国語Bは、全国の平均正答率を若干下回りましたが、県の平均正答率は上回っています。今後、国語の基礎的基本的な内容（漢字やローマ字、書写、接続語等）について、確実な定着を図っていく必要があります。

算数A・Bとも全国・県の平均正答率を上回りました。算数については、日頃のチームティーチング指導等の成果も見られ、数量や図形についての技能、知識・理解の能力の高さが見られ、良好な結果となりました。

質問紙調査からは、新聞を読んだり、学習塾等で学習したりしている児童が多いことが分かります。しかし、普段からゲームを長い時間している児童もおり、学校の学習内容を予習・復習している児童は少ないことも明らかになりました。また、地域の行事に参加したり、自分のよさを認めたり、将来の夢・目標を持ったりする児童が少なく、自己肯定感が低いなどが調査からうかがえます。



### 《全国や県と比較して、良い結果だった内容》

国語A・漢字を読む「省く」、漢字を書く「アサガオのたね」

国語B・スーパーマーケットの店長への質問の意図を捉えることができる。

- ・目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことができる。

算数A・割り算の計算の確かめの方法を理解している。

- ・ $(2/9) \times 3$ の計算ができる。

- ・ $8\text{m}^2$ に14人座っているシートについて、 $1\text{m}^2$ あたりの人数を求める式を書くことができる。

- ・直方体で、示された面に垂直な面を選ぶことができる。

算数B・ハードルの数とインターバルの数の関係の式を表し、4台目のハードルの位置を求めることができる。

- ・学校ごとの1人あたりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の他に調べる必要のある事柄を選ぶことができる。

- ・示された四角形を並べてできる図形を選ぶことができる。

### 質問紙調査

- ・朝食を毎日食べている。

- ・学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたり勉強している時間（学習塾や家庭教師に教わっている時間も含む）。

- ・新聞を読んでいる。

## 《全国や県と比較して、課題となる内容》

- 国語A・漢字を読む「快晴」、漢字を書く「したい友人」「そうだんする」
- ・書き手の表現の仕方をよりよくするために助言できる。
  - ・登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉えることができる。
  - ・毛筆で書く文字の大きさや配列などを決めることができる。
  - ・ローマ字を書く「りんご」「あさって」
- 国語B・スーパーマーケットの店長への話の展開に沿った質問を書くことができる。
- ・「早寝早起き」活動の成果について、グラフを基に、分かったことを的確に書くことができる。
  - ・課題の解決方法について、表の結果を基にして自分の考えを書くことができる。
- 算数A・ $18 \div 0.9$ の計算ができる。
- ・4枚の三角定規でつくることのできる形を選ぶことができる。
  - ・バスの定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すことができる。
- 算数B・正方形の縦の長さを2cm短くし、横の長さを2cm長くすると面積が $4\text{cm}^2$ 小さくなることの説明を書くことができる。
- ・縦39cm、横54cmの長方形の厚紙から、1辺が9cmの正方形を24個切り取ることのできるわけを書くことができる。
  - ・A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読み取った事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書くことができる。

## 質問紙調査

- ・自分には、よいところがある。
- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・普段（月～金曜日）、寝る時刻。
- ・普段（月～金曜日）、1日あたりテレビゲームをしている時間。
- ・家で、自分で計画を立てて勉強している。
- ・家で、学校の授業の予習をしている。
- ・家で、学校の授業の復習をしている。
- ・住んでいる地域の行事に参加している。
- ・地域社会などでボランティア活動に参加した。



以上の結果を受け、本校として次の改善策に取り組む。

### 改善策

- 1 校内研修等を通じて、教師の力量を高め、学校全体で授業力の向上に努める。**
  - ・視覚的に理解しやすい板書の工夫
  - ・学習を振り返ることができるようなノート指導ワークシートの工夫
  - ・授業の始まりに「めあて」の明示、終わりに「振り返りの時間」の設定
- 2 学力向上を支える取組を工夫する。**
  - ・基礎基本の定着……国語・算数コンテストを通して繰り返し学習
  - ・レベルアップ日（補充学習日）の設定
  - ・活用力の育成……朝学習の工夫（県教委発行「評価資料集」の活用等）
- 3 家庭学習の充実と習慣化を目指す。**
  - ・「家庭学習のすすめ」の配布、宿題と自主学習の習慣化
  - ・アウトメディアの奨励